

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年1月6日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691200309
法人名	医療法人 誠井会
事業所名	グループホーム 陽だまり日輪荘
所在地	鹿児島県霧島市国分広瀬二丁目29番37号 (電話) 0995-55-0700
自己評価作成日	平成24年12月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成24年12月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者それぞれが、四季(季節感)を味わってもらえる様に、四季に応じた様々な活動や地域の夏祭り等へ招待されるなど、地域ぐるみでの活動を行うことが出来ている。また、事業所内も工夫を行っている。

音楽療法や陶芸教室、お菓子作りや関連事業所との合同の料理教室や音楽療法等、バラエティーに富んだ活動を提供する事で、日常の中でも非日常的な刺激を味わう事が出来るよう工夫している。

活動については、すべて本人の意思決定により取り組めるよう努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・理念を基に定例会や各委員会活動を行い、理念について確認し、よりよいサービスが提供できるように努めている。
- ・余暇活動では、音楽や陶芸教室等を通して利用者が楽しめる工夫をしており、利用者の意思決定を尊重したサービスを提供している。
- ・家族会への出席率が高く、全入居者の家族が参加することもある。アンケートの実施や毎月の活動報告の送付など、家族との信頼関係が築けるように取り組んでいる。
- ・母体医療機関が隣接し、ホームに看護師を配置して緊急時に対応ができるなど、利用者や家族にとって安心できる環境である。
- ・地域行事への参加や中学生や大学生の職場体験等を受け入れたり、ホーム内の介護予防拠点施設では、様々なプログラム活動を展開し、地域との交流を深めている。
- ・定期的避難訓練や自主訓練を行い、近隣住民も訓練に参加している。また、災害時における地域との協力体制ができています。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ．理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念等、事務所や玄関に掲示し、各スタッフネームにもつけ、理念に沿ったケアの実施に努めている。	理念は事業所内に掲示し、スタッフネームにも記載している。法人全体の研修会や毎月の定例会等にて、理念について確認し、職員はよりよいサービスが提供できるように努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩、外出を通して会話を交わしたり交流を図り、地域の行事にも参加させて頂いている。	地域の夏祭りや行事に参加し、中学生の職場体験や大学生の施設実習の受け入れ、ホームの畑で保育園児の芋掘りや小学校への花の苗プレゼントも行っている。ホーム内に介護予防拠点施設があり、毎月様々なプログラムを実施して、地域との交流やつながりを大事にしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	近隣保育園児との芋ほりや地域中学校の職場体験学習を実施している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	議題に対して率直な意見や助言を頂き改善策をスタッフ全員周知しサービス向上に取り組んでいる。	会議には、家族や公民館長・消防署員・民生委員・市担当者・地域包括支援センター職員等が出席している。会議では出前講座等を実施したり、外部評価の結果についても報告している。活発な意見交換がなされ、サービスの質向上に反映させている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	推進会議へ参加して頂き協力支援を頂いていますが、今後は連携を密に図り関係を構築できるように努めます。	運営推進会議に市担当者が出席するほか、市担当課とは主にメールにて情報交換を行っている。また、市の担当者と日頃から協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を2ヶ月に1回実施することで身体拘束マニュアルを周知し身体拘束しないケアに努めている。	法人として身体拘束廃止に向けての決意や方針があり、契約時に説明している。身体拘束廃止委員会を2ヶ月に1回開催し、職員の共通認識を図り、身体拘束をしないケアに取り組んでおり、日中は玄関の施錠はしていない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待について定期的に研修を実施し虐待をしないケアを常に意識し統一したケアに努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	資料研修や同法人、他事業所との合同研修を実施している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	説明後 疑問点についても詳しく説明、納得して頂き契約をさせてもらっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	毎月の活動報告の送付の継続、アンケートの実施 要望を気楽にして頂ける関係作りに努めている。	利用者からは、入浴など個別対応の時などに、意見や要望を聞いている。家族からは、アンケートや年2回の家族会、面会時を活用し要望等を聞いている。意見等は、職員全体で話し合い解決できるように努めており、必要に応じて運営推進会議で検討し運営に反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月、定例会、各委員会の出席、業務改善を実施してお互いの意見を検討して業務に反映させている。	代表者は、業務改善会議や法人定例会等にて職員の意見等を聞いている。管理者は、全職員参加の毎月の定例会や日常的に職員から運営に関する意見や要望等を聞き、運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	折々の会話を通して目標を把握してスキルアップ、向上心を持って働けるように努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内研修、外部研修への参加を通して学んだ事を共有できるように努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH協議会、連合会を通しての研修を中心に参加して同業者との交流、情報交換に活用している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前のご本人・ご家族様との面談を通して、心境、悩み等について傾聴することで信頼関係を築けるように努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	訪問、電話等で、コミュニケーションを取りご家族の考え悩み等について話せる関係を築けるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所者様のニーズに可能な限り近づけたサービスを実施できるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	スタッフと共に各自出来る所を実施して行く事で関係を深められるように努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員とご家族様が話し合いながらご入所者様の思いを共に大切に出来るように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご入所者様、ご家族、地域の方々とお交流を通して馴染みの関係が途切れないように努めています。又地域の方々、馴染みの方ご家族の来訪をお待ちして受け入れています。	友人や知人の訪問があり、継続的な交流ができるように支援している。美容院や墓参り等の外出についても、家族の協力を得ながら、できるだけ希望に添えるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入所者様の趣味等の把握、共通の話題等を通してできる限り自発的交流が実施出来るように努め、場合によっては、スタッフが中に入り活動を通して支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	問い合わせ等についての支援については実施できているが、体制としては整っていない。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	生活の中でご本人の意志を尊重してできる限り添えるように努めています。	利用者からは、入浴支援時や散歩の時などに、思いや意向の把握に努めている。家族からも家族会や面会時等に情報を得ている。困難な場合は、本人の意思を尊重した生活ができるように、職員が情報を共有し支援をしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前アセスメントと繰り返しアセスメントを実施、ごご家族からの情報で裏付けする事で、把握に努めています。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活歴をふまえ体調を考慮したうえで生活活動出来るように努めています。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入所者様・ご家族・必要な関係者との会話を通して入所者様の思いと日々変わっていく現状に即した計画を作成出来るように努めている。	利用者や家族の意見を聞き、毎日の暮らしぶりをもとに職員で話し合い、現状に即したプランになるように作成している。介護計画の見直しは3ヶ月毎であるが、状態が変化した場合は随時見直している。モニタリングは毎月実施している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の記録を通して各職員が把握、共有して介護計画に生かしたり見直しに努めて生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々入所者様のご家族様のニーズを把握して関連事業所との連携を取りながらニーズに沿った支援サービスを行えるように取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の方々や馴染みの友人が訪問できる環境を作りを実施入所者様が楽しく活動できるように支援に努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の確認や連絡体制の確認をし、緊急時対応についてもご家族様の了解と理解をえて、医療関係との連携を図り支援をしている。	希望のかかりつけ医への支援体制を行っている。看護師を配置して必要に応じて家族の協力を得ながら通院の支援をしている。母体医療機関と医療連携ができており、利用者や家族にとって安心できる体制である。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	健康状態の把握、体調管理を実施 毎日かかり付け医に報告と共に必要時には、協力医院、かかり付け医との連携して必要な治療を受けられつるよう努める。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時の情報提供書により、入院までの経過歴や、内服、緊急連絡などの情報を明記し情報の共有に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	現時点では、マニュアル等の整備を行い、ご本人様やご家族様との口頭での説明は行っているものの、書面等を頂くなどの体制は整っていない。	事業所の方針として「看取りに関する指針」があり、必要に応じて同意書を準備している。重度化や終末期のあり方については、事業所でできることを確認し、事業所方針を職員間で共有し、利用者や家族への十分な説明や周知する体制を整えつつある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急手当や事故発生時の対応について研修を行い緊急時に迅速な対応が出来るように努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的避難訓練を実施し防災委員による対応マニュアルについて周知 緊急時に備えている。推進会議、予防拠点活用プログラムにも取り入れ、地域の方々と協力体制が、取れるように努めている。	年2回、避難訓練を実施し、1回は近隣住民も参加している。自主訓練も年数回実施している。予防拠点活用プログラムにも取り入れて、消火器の使用訓練や消防設備の定期点検も実施している。非常用の食料等を備蓄している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入所者様 一人ひとりの人格とプライバシーを尊重した声かけ対応を常に心がけている。	人格の尊重とプライバシーの確保については、外部研修に参加したり、法人内研修会や定例会等で話し合っている。氏名で声かけをするなど、プライバシー保護や個人を尊重したケアが実践できるように心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけしている	入所者様がいつでも思い、希望を表現出来 自分の思いを自然に自己決定出来るように声かけに努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の一人一人のペースを大切に体調を考慮し希望に添った個別性のある生活を心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	衣服の決定 身だしなみについてはご本人の好みをお聞きし自己決定していただける支援を心がけている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	入所者様の嗜好を可能な限りお聞きし楽しみの一つとなるように心がけています。準備・片付けについては、それぞれ出来る範囲でスタッフと共に実施出来るように心がけています。	嗜好調査を行い、献立は利用者の好みに配慮している。また、誕生日には希望の献立にする等、食事を提供している。利用者もできる範囲で手伝っており、職員と利用者が同じテーブルを囲んで、楽しく食事ができる支援をしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立表により内容チェックを行い栄養バランスを把握出来るように心がけ食事量、水分量のチェックを毎食後行い表を作り体調変化に早く気づけるように活用している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨き、うがい、義歯磨きの実施 口腔ケアも定期的に行っている。義歯についても定期的に洗浄剤につけている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日中、夜間の排泄パターンをそれぞれ確認し個々に合わせた対応を実施 自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表を作成し、利用者一人ひとりの排泄パターンを把握している。適時に声かけを行い、トイレ誘導して、できるだけおむつをしないで済むように、自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の有無の確認を行い表に記入しパターンを知る事で、食事内容 水分摂取の確認と体操等で排泄を促している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	それぞれ体調に考慮しながら希望にあわせ入浴出来るように努めている。	入浴は週に3回のペースであり、利用者の希望を尊重している。入浴を好まない利用者には、工夫して対応している。ゆず湯や入浴剤など使用したりして、気分よく入浴できるように配慮しながら、個別に入浴支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活パターンに合わせて、休息出来るように心がけ 良眠出来るように環境の設定を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診時の処方の一覧表により内容把握に努め変更の有無等あった場合書面での確認を実施 セットについては、看護師にて実施		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入所者様にとって役割を持たれ出来る範囲で実施されています。懐かしのお菓子作り、料理作りと楽しみ気分転換を図られて頂いています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	買い物、ドライブと希望に沿って出来る範囲で実行 家族、地域の人々との同行には至っていないが地域の祭りでの協力支援は頂いている。	天気のよい日は、近くの公園や神社を散策したり、ドライブや買い物に出かけたりしている。墓参りなど個別の外出は家族の協力をもらっている。歩行困難な利用者はリフト車を利用して外出支援をしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理については預かり金として管理させて頂いており何人かはお小遣いとして持っています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	時節の挨拶状や文書のやり取りには率先して取り組ませて頂いている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾ったり、入所者様の手作り作品を飾り、季節を感じて頂き、心地よく過ごして頂けるように考慮している。	共用空間は、広くて明るく、利用者の作品や写真等が展示され、季節感を大事にした飾り付けもされている。ソファがあり、ゆったり過ごすことができる。また、和室から中庭が見え、利用者が落ち着いて生活できる環境になっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブル、ソファ、和室と、好きな空間で過ごして頂けるように配慮、工夫している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所前からの馴染みの家具や道具を使用され安心して過ごして頂けるよう努めている。	居室には、電動ベッドとタンスが備え付けられており、本人の使い慣れた家具や写真・テレビ・こたつ等が置かれ、利用者が安心して暮らせるように配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入所前のアセスメントと入所後の生活パターンを知る事で見守りをしながら出来る範囲で自立した生活がおくれるように努めている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない